

## 【ウィナーズカップ競技規定 2009】

1 代表者会議で説明または決められた事項はチーム全員に必ず徹底させること。

2 特に定められた以外は2009年度公認野球規則による。

【注】グラウンドルールを必要とする会場は、立会いチーム・審判員協議の上で適用する。

### 3 試合方法

(1) 試合時間 1 時間 30 分。

- ① 1 時間 20 分以降新しいイニングに入らない。(後攻が勝っていてもこのルールは適用されます)
- ② 5 回以降得点差 7 点以上はコールドゲームとする。
- ③ 降雨のため試合続行不可能のときは 5 回以降コールドゲームを適用する。
- ④ 上記③の条件に満たないときは、ノーゲームとし後日再試合を行う。
- ⑤ 試合時間が 90 分を超えた場合、その場で試合終了とし成立したイニングまでで勝敗を決する。

(後攻が勝っていて新しいイニングに入って先攻が逆転しても、イニング成立しない場合は後攻の勝ちになる場合も当然あります)

(2) 予選リーグ戦適用事項

- ① 勝点順位制とし(勝ち 3 点・引き分け 1 点) A・B ブロック上位 3 チーム、C・D ブロック上位 1 チームの 8 チームで決勝トーナメントを行う。
- ② 同勝点の場合、得失点差の上位のチーム。
- ③ ②が同点の場合、直接対決の勝者チーム。
- ④ 上記③でも決しない場合、抽選による。

(3) 決勝トーナメント適用事項

- ① 試合時間内に勝敗が決しない場合、全軟連特別規則二、延長戦 2、(2)・(3)を適用する。

【注】準決勝まで二延長戦 2(2)を 1 イニング行い(3)を適用し決勝戦は(2)を適用する。

- ② その他「3-(1)」を適用する。

【注】決勝戦は「(1)-②」は適用しない。

③ \*決勝トーナメントの組合せは進出 12 チームとする。1 部上位 4 チーム・2 部上位 2 チーム

### 4 試合の有無

- (1) 天候による試合の順延・変更は試合当日に決定。  
【注】第一試合の選手・審判は天候にかかわらず 30 分前に会場に集合のこと。
- (2) 順延・変更の決定権は、主審（第二試合・一塁側）が有する。
- (3) 順延・変更の確認(第 2 試合以降)は各チームにてホームページ連絡掲示板確認のこと。
- (4) 試合の有無について会場への問い合わせは一切厳禁する。
- (5) 試合中止の場合、その試合の開催期日、会場については実行委員から連絡する。(確認はホームページにて)
- (6) 試合日程の賛否は連盟・大会事務局に 2 週間前（事務手続き上）に連絡の事（厳守）。但し、事務局は試合の組替えは行わない。

## 5 試合球

- (1) 公認○健 A 号ボールとする。
- (2) 各チーム持ちよりとし、ニューボール 2 個（雨天時 3 個）を試合当日提出する。

## 6 用具

- (1) バットは全日本軟式野球連盟公認(J.S.B.B)のマーク入りであること。(ビヨンド等は使用できません)
- (2) グラウンド内で素振り用バット(マスコットバットを含む)の使用は許されるがグラウンド内の地面に置くことは許されない。  
【注】素振り用としてリング・鉄パイプなど危険と思われるものを試合会場への持込を禁止する
- (3) 捕手は危険防止のため必ず全日本軟式野球連盟公認マスク・ヘルメット・レガースを使用すること。

## 7 抗議権・タイムの要求

- (1) 抗議できるものは、監督及び主将とプレイヤーのみとする。但し、規則適用上の問題に限る。
- (2) タイムはプレイヤーの要求したときでなく審判員の認めたときである。
- (3) 守備側からのタイムで試合が停止されたときは、その間投手は捕手を相手に投球練習することは許されない。

## 8 選手登録

- (1) 選手登録されたもの以外は、試合に出場できない。  
【特例】主審と対戦チームの同意があれば、当日欠員の場合 1 名に限り認める。

- (2) 選手登録されていてもメンバー表交換の際、記載のない選手は試合に出場できない。
- (3) 選手登録の変更時期は以下とする。
- 一次：春季代表者会議～開会式当日まで。
  - 二次：予選リーグ終了後～決勝トーナメント前日まで。
- ①：大会参加に関する変更は、書面をもって手続きの事。手続きは連盟・大会事務か実行委員に提出。

9 審判委員（2009年度改訂のため規則という意味から外れる文面もありますが、補足として）

●主旨●

当大会は、新潟市軟式野球選手権大会に出場枠を持ち、各チームお互いに審判を務め、市連等にも公に認められている大会です。

以前より審判講習会等を開催し、公認野球規則に則った公正なジャッジまた審判技術向上のため努力して参りましたがそれを更に確実なものとするため、参加チーム各々が各試合の審判を務めるという責任感を持ち、大会の厳正化を一步進めるためを目標に、本年度より審判部を設立するという運びとなりました。

- (1) 2009年度より新潟市西部地区野球連盟審判部を設立し、参加各チームより審判委員を最低2名登録していただきます。
- 更に各試合の主審は、この審判部登録者のみと限定いたします。
- 今後審判講習や審判委員会の開催などもあり得ますので、その際に登録者は当然強制参加になります。
- その辺もよく踏まえてご登録お願いいたします。
- 2009年度5月7日までの提出をお願いいたします。
- やむを得ず登録審判員が出せない場合、他チームの連盟登録審判員を出せます。
- (2) 審判を努める分担は今までとおり、各試合前後の試合のチームより選出（第1試合←→第2試合・第3試合←→第4試合）し各チーム3名選出し計6名
- 主審は1塁側のチームが努める。その他2人はボールボーイ兼スコアラーになります。
- 3塁側チーム3名は塁審を努める。
- (3) 審判委員は試合前／両チームにボールの提出／先・後攻の決定メンバー表の交換（登録名簿確認）／必要に応じて水撒きを行うこと。
- 【注】メンバー表・登録名簿・結果報告書は大会事務局で用意します。
- (4) 最終試合の主審を務めたチームは、大会実行委員までその日一日の試合結果を報告する義務を負います。

#### 1 0 不戦敗規定（ペナルティ）

- (1) 試合成立人数（9人）未達。
- (2) 審判員不在（3人未満）。
- (3) 試合日連絡なく不出場。
- (4) 試合開始時間遅れ。（5分前集合をかけ、試合開始の宣告をする。）

「(2)・(3)・(4)」に該当したチームは5,000円の罰金、次期試合出場停止(1試合)、指定試合の審判(6名)を段階的に科す。

#### 1 1 勝点方式

勝利チームは3点、敗者チームは0点、引き分けチームは1点とする。

#### 1 2 規定変更

- (1) 規定変更は、代表者会議の2/3出席（委任を含む）と1/2以上の同意により決定する。（実行委員改選も含む）

### 【 競技規定・内規 2009 】

#### 大会参加義務事項

##### 1 野球帽・ユニフォームの着用、背番号貼付。

- (1) 未着の場合、不戦敗も認められる。

【注】審判委員は、当該チームの責任者に改善を求めること。

- (2) ポイント式スパイクの使用を奨励する。
- (3) 参加選手の背番号の内、監督30番・主将10番にすることを推奨する。

##### 2 試合における申告事項はメンバー表交換の際に伝達し、了承を得る。

【注】主審・相手チーム代表者。

##### 3 ストライク、ボール、アウト、セーフ、フェア、ファールなどの判定に対する抗議・相手チームや審判員に対する聞き苦しい野次は厳禁する。

##### 4 審判委員の服装は、野球帽・グラウンドコート（又はジャンパー）もしくはユニフォームの上着を脱ぐ・運動靴の着用。

## 5 試合場

- (1) 使用に際しては、実行委員の指示に従う。
- (2) 試合時には、ゴミ袋等持参して、ゴミは持ち帰ること。
- (3) たばこは灰皿のある場所以外では吸わないこと。

【注】ベンチ内禁煙

- (4) グラウンド以外では、スパイクを履かないこと。
- (5) 最終ゲームのチームはグラウンド・ベンチの後片付けを行うこと。
- (6) 各会場における駐車場所では、地域住民の迷惑にならないよう十分に注意する。

【注】近所迷惑になるような、大声・音響・エンジン音等騒音にはお互いに注意すること。

- (7) 大会本部には、実行委員・代表者以外は立ち入り禁止とする。

## 6 安全面から救急箱の携帯を奨励する。また、万一の事故に備えて各チームでスポーツ保険に加入することを奨励する。

【注】大会中の事故及び負傷については、各チームにおいて処理すること。実行委員はその責に応じない。

## 7 特別事項

### (1) 責任当番

第一試合の一塁側と第三試合の一塁側が努めて下さい。

第一試合の一塁側の責任として、審判用具の用意・会場の鍵の受け取りをして下さい。また天候などにより中止と判断した場合必ず実行委員に連絡してください。中止の判断はこの第一試合の主審に決定権があります。

第三試合の一塁側の責任として、審判用具の管理・次の責任当番への引き渡し・その日一日の試合結果をその日のうちに実行委員に報告・試合終了後の会場のゴミ・忘れ物の見回り・鍵の返却となります。

- 審判道具の管理引き渡しは、必ず立ち会い当番同士で連絡し確実に引き渡しすること。大会実行委員は連絡の間に入ることはいたしません。各チーム連絡責任者の名簿を配布してありますので、そこで確認して連絡を取り合ってください。

なお大会日程の組み合わせで、そのままいずれかのチームが管理した場合がよい場合、実行委員から指示します。

### (2) 新潟市公共施設予約システムのご協力

近年大会に使用するグラウンド確保システムが、インターネットによる抽選システム

にどんどん移行していきます。

各チームの協力がなければ球場確保もままならず、大会運営に支障を来す事も考えられますので、各チームこのことについて

責任者を選出し、予約のお手伝いをお願いします。

1995.03.30	作成
1996～2002.03.30	各年同日一部改訂
2004.03.30	全面改定
2009.04.46	一部改訂
<b>【作成・改訂責任者】</b>	
1995～1997	佐久間忠行
1998～2002	伊藤忠一
2004	佐藤豊明
2009	田辺暁之